

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

ALSHIN
BANK<https://www.shinkin.co.jp/alshin/>

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業安定所管内)		2025/2 1.31 倍	2024/2 1.32 倍	前年同月比 -0.01 倍
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	7,044 台	6,320 台	11.46 %
	中古車	2,059 台	2,198 台	-6.32 %
	合計	9,103 台	8,518 台	6.87 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡)		12~2月 214 件	12~2月 210 件	1.90 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		9,331 人	8,963 人	4.11 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	256,698 台	258,897 台	-0.85 %
	出	243,007 台	244,386 台	-0.56 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	255,353 台	266,381 台	-4.14 %
	出	261,704 台	275,055 台	-4.85 %
中央道利用台数 (小黒川スマートインター分)	入	138,035 台	136,004 台	1.49 %
	出	140,043 台	135,485 台	3.36 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	209,259 台	208,463 台	0.38 %
	出	213,571 台	212,602 台	0.46 %
中央道利用台数 (駒ヶ岳スマートインター分)	入	66,658 台	65,526 台	1.73 %
	出	57,755 台	62,890 台	-8.17 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	145,864 台	151,551 台	-3.75 %
	出	139,412 台	139,528 台	-0.08 %

前期10-12月 今期1-3月 来期4-6月 7-9月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先185社に対し、2025年1-3月期の景気の現状と2025年4-6月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は12.6%（前期14.5%）、悪かったとする企業は48.9%（前期39.0%）であった。業種別に見ると、良かったとする企業の割合が最も多かったのは製造業で20.0%（前期16.9%）、続いて小売業が12.5%（前期15.2%）、続いて建設業が10.0%（前期16.2%）、サービス業が4.3%（前期8.7%）で、卸売業と不動産業では良かったとする企業は無かった。また、悪かったとする企業の割合が多かった業種はサービス業で69.6%（前期26.1%）、卸売業が62.5%（前期25.0%）、小売業が56.3%（前期54.5%）、製造業が53.8%（前期55.4%）、の順であった。

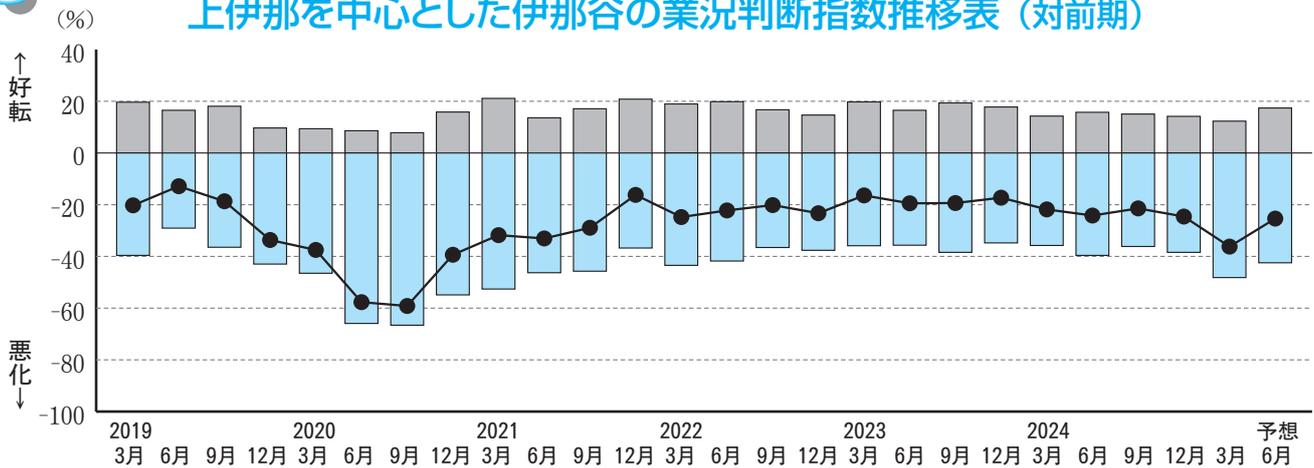
DIを総合的に見ると▲36.2（前期▲24.4）と▲11.8ポイントで悪化傾向が強まった状況。

業種別にDIを見ると、すべての業種がマイナス領域で、悪かったとする企業が多い状況となったが、マイナスポイントが大きな順に、サービス業が▲65.2（前期▲17.4）、卸売業が▲62.5（前期▲25.0）、小売業が▲43.8（前期▲39.4）、製造業が▲33.8（前期▲38.5）となった。

◇**来期の見通し**：来期の業況予想を総合的に見ると、良いと予想する企業は17.2%（今期12.6%）、悪いと予想する企業は43.1%（今期48.9%）、DIは▲25.9（今期▲36.2）と10.3ポイントの上昇で悪いと予想する企業は減少する見込み。

業種別のDIを見ると、卸売業が37.5（今期▲62.5）と唯一プラス領域で、今期と比較してプラス100.0ポイントの好転を予想している。サービス業は▲8.7（今期▲65.2）とプラス56.5ポイントで回復傾向。小売業では▲40.6（今期▲43.8）と回復気配が生じた。逆に建設業では▲17.5（今期▲12.5）と▲5.0ポイント、製造業では▲36.9（今期▲33.8）と▲3.1ポイントでいずれも低調感を強める予想となった。不動産業では▲33.3（今期▲33.3）と水面下のまま業況は変わらない予想であった。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



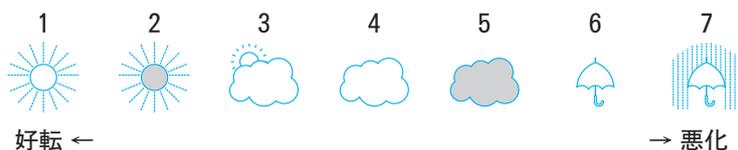
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	2024年 7～9月期	2024年 10～12月期	2025年 1～3月期	2025年 4～6月期予想
総合					
製造業					
建設業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
不動産業					



製造業

(調査先企業70社 うち回答企業65社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.0%**（前期**16.9%**）、悪かったとする企業は**53.8%**（前期**55.4%**）、DIは**▲33.8**（前期**▲38.5**）とプラス4.7ポイントで悪化傾向は弱まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲21.5**（前期**▲7.7**）と**▲13.8**ポイント、収益のDIは**▲30.8**（前期**▲7.7**）と**▲23.1**ポイント、受注残のDIにおいては**▲15.4**（前期**▲9.2**）と**▲6.2**ポイントでいずれも減少幅は拡大している。価格面では、販売価格のDIは**21.5**（前期**9.2**）とプラス**12.3**ポイントで上昇と答えた企業の割合は増加、原材料価格のDIでは**▲47.7**（前期**▲49.2**）とプラス**1.5**ポイントで上昇は落ち着きを見せた。資金繰りのDIは、**▲18.5**（前期**▲25.0**）とプラス**6.5**ポイントで窮屈さはやや緩和している。借入れをした企業は**35.4%**（前期**23.1%**）、設備投資の実施をした企業は**38.6%**（前期**39.4%**）であった。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**▲9.2**（前年同期**▲28.8**）とプラス**19.6**ポイント、収益のDIも**▲18.5**（前年同期**▲31.8**）とプラス**13.3**ポイントでいずれも厳しさが和らいできている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは**▲36.9**（今期**▲33.8**）と**▲3.1**ポイントで低調感を強める予想をしている。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは**▲12.3**（今期**▲21.5**）とプラス**9.2**ポイント、収益のDIにおいても**▲9.2**（今期**▲30.8**）とプラス**21.6**ポイントでいずれも改善傾向の予想となった。また、受注残のDIにおいては**▲16.9**（今期**▲15.4**）と**▲1.5**ポイントで減少幅がやや拡大する予想である。価格面では、原材料価格のDIは**▲36.9**（今期**▲47.7**）とプラス**10.8**ポイントで上昇傾向は弱まり、販売価格のDIにおいても**13.8**（今期**21.5**）と**▲7.7**ポイントで上昇傾向は弱まる予想である。資金繰りのDIでは**▲29.2**（今期**▲18.5**）と**▲10.7**ポイントで窮屈感は強まる見通しである。借入れを予定している企業は**21.5%**（今期実施**35.4%**）、設備投資の実施を予定している企業は**37.7%**（今期実施**38.6%**）となっている。

◆DI指数推移

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲44.6	▲44.1	▲33.3	▲38.5	▲33.8	▲36.9
売 上 額	▲42.4	▲20.6	▲9.5	▲7.7	▲21.5	▲12.3
受 注 残	▲25.8	▲11.8	▲22.2	▲9.2	▲15.4	▲16.9
収 益	▲28.8	▲19.1	▲15.9	▲7.7	▲30.8	▲9.2
販 売 価 格	7.6	2.9	6.3	9.2	21.5	13.8
原 材 料 価 格	▲31.8	▲48.5	▲39.7	▲49.2	▲47.7	▲36.9
原 材 料 在 庫	18.2	17.6	17.5	20.0	15.4	13.8
資 金 繰 り	▲13.6	▲19.4	▲21.0	▲25.0	▲18.5	▲29.2

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	した	22.7	29.9	25.4	23.1	35.4	21.5
	しない	77.3	70.1	74.6	76.9	64.6	78.5
借 入 難 易 度	容 易	7.6	10.4	6.5	9.2	12.3	—
	不 変	72.7	70.1	69.4	63.1	66.2	—
	難	6.1	9.0	11.3	9.2	6.2	—
	該当なし	13.6	10.5	12.8	18.5	15.3	—

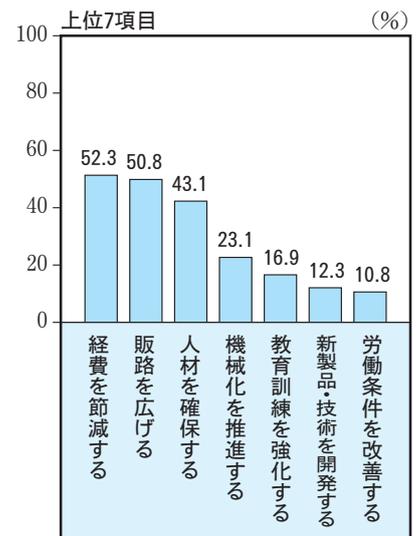
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	した	39.7	50.6	38.5	39.4	38.6	37.7
	しない	60.3	49.4	61.5	60.6	61.4	62.3
状 況	過 剰	10.6	11.8	6.3	13.8	10.8	12.5
	適 正	81.8	79.4	81.0	75.4	83.0	78.1
	不 足	7.6	8.8	12.7	10.8	6.2	9.4
DI	3.0	3.0	▲6.4	3.0	4.6	3.1	

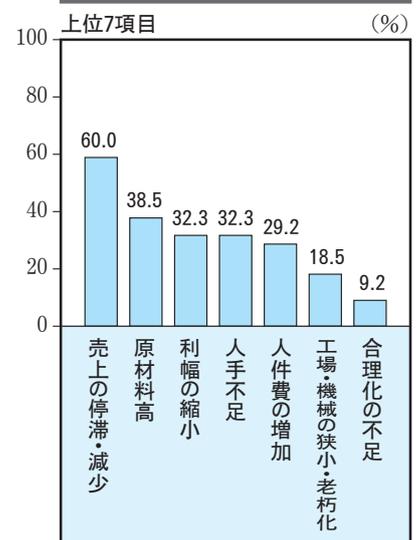
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	12.1	12.1	13.1	21.9	18.5	13.8
	不 変	57.6	51.5	54.1	56.2	70.7	70.8
	減 少	30.3	36.4	32.8	21.9	10.8	15.4
人 手	過 剰	30.3	27.9	22.2	32.3	18.8	15.6
	適 正	54.5	51.5	55.6	44.6	48.4	51.6
	不 足	15.2	20.6	22.2	23.1	32.8	32.8

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

建設業

(調査先企業42社 うち回答企業40社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.0%**（前期**16.2%**）、悪かったとする企業は**22.5%**（前期**13.5%**）で、DIは**▲12.5**（前期**2.7**）と**▲15.2**ポイントで悪化に転じている。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲15.0**（前期**10.8**）と**▲25.8**ポイント、収益のDIでは**▲15.0**（前期**2.7**）と**▲17.7**ポイント、施工高のDIにおいても**▲5.0**（前期**10.8**）と**▲15.8**ポイントといずれも増加から減少に転じている。また、受注残のDIにおいては**▲22.5**（前期**▲5.4**）と**▲17.1**ポイントで減少を強めた。価格面では、請負価格のDIは**5.0**（前期**2.7**）とプラス**2.3**ポイントで上昇傾向を強め、材料価格のDIは**▲60.0**（前期**▲62.2**）プラス**2.2**ポイントで上昇したとする企業の割合はやや減少した。資金繰りのDIは**▲12.5**（前期**▲13.5**）とプラス**1.0**ポイントで窮屈感はやや弱まった。借入れをした企業は**27.5%**（前期**35.1%**）、設備投資の実施をした企業は**50.0%**（前期**46.7%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**0.0**（前年同期**▲12.8**）とプラス**12.8**ポイント、収益のDIにおいても**▲5.0**（前年同期**▲25.6**）でプラス**20.6**ポイントと減少傾向は弱まっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、業況のDIは**▲17.5**（今期**▲12.5**）と**▲5.0**ポイントで、厳しさを強める予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは**▲7.5**（今期**▲15.0**）プラス**7.5**ポイントで回復の兆し、収益のDIにおいては**0.0**（今期**▲15.0**）とプラス**15.0**ポイントで回復する予想。受注残のDIにおいては**2.5**（今期**▲22.5**）とプラス**25.0**ポイントで増加に転じる予想となった。価格面では、請負価格のDIは**▲2.5**（今期**5.0**）と**▲7.5**ポイントで下降傾向に転じ、材料価格のDIにおいては**▲65.0**（今期**▲60.0**）と**▲5.0**ポイントで上昇傾向は更に強まる見通しである。資金繰りのDIにおいては**▲5.0**（今期**▲12.5**）とプラス**7.5**ポイントで窮屈感は和らぐ見通しである。借入れを予定している企業は**32.5%**（今期実施**27.5%**）、設備投資の実施を予定している企業は**46.8%**（今期実施**50.0%**）となっている。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

◆DI指数推移

	2024年				2025年	予想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	2.6	7.7	7.7	2.7	▲12.5	▲17.5
売上額	▲2.6	▲10.3	0.0	10.8	▲15.0	▲7.5
受注残	▲17.9	▲20.5	7.7	▲5.4	▲22.5	2.5
収益	▲2.6	▲28.2	▲15.4	2.7	▲15.0	0.0
請負価格	15.4	0.0	▲5.1	2.7	5.0	▲2.5
材料価格	▲56.4	▲66.7	▲59.0	▲62.2	▲60.0	▲65.0
在庫	2.6	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0
資金繰り	▲2.6	▲10.3	▲12.8	▲13.5	▲12.5	▲5.0

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借入実施	した	28.9	30.8	30.8	35.1	27.5	32.5
	しない	71.1	69.2	69.2	64.9	72.5	67.5
借入難易度	容易	7.9	5.1	12.8	8.3	7.5	—
	不変	65.8	69.2	69.2	69.4	67.5	—
	難	5.3	5.1	2.6	8.3	10.0	—
	該当なし	21.0	20.6	15.4	14.0	15.0	—

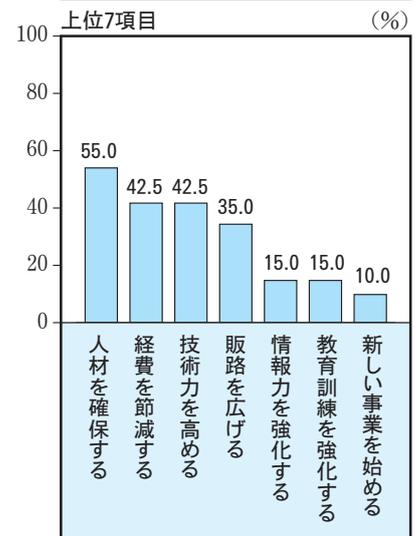
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実施	した	46.5	41.5	38.1	46.7	50.0	46.8
	しない	53.5	58.5	61.9	53.3	50.0	53.2
状況	過剰	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	適正	92.3	89.7	89.7	91.7	92.5	92.5
	不足	2.6	7.7	10.3	8.3	7.5	7.5
DI	2.5	▲5.1	▲10.3	▲8.3	▲7.5	▲7.5	

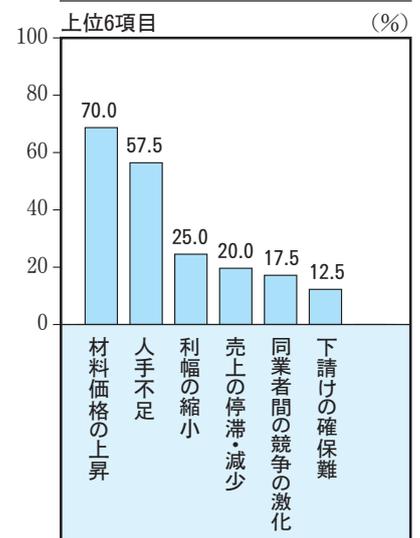
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残業時間	増加	2.6	12.8	0.0	5.4	7.5	7.5
	不変	79.0	59.0	79.5	73.0	72.5	80.0
	減少	18.4	28.2	20.5	21.6	20.0	12.5
人手	過剰	0.0	2.6	5.1	0.0	0.0	6.5
	適正	53.8	38.4	38.5	51.4	52.5	43.5
	不足	46.2	59.0	56.4	48.6	47.5	50.0

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



卸 売 業 (調査先企業8社 うち回答企業8社)

◇今期の業況：今期の業況は、良かったとする企業は0.0%（前期0.0%）、悪かったとする企業は62.5%（前期25.0%）となり、DIは▲62.5（前期▲25.0）と▲37.5ポイントで低調感を強めている。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲37.5（前期50.0）と▲87.5ポイント、収益のDIも▲50.0（前期37.5）と▲87.5ポイントで減少傾向に振れている。販売価格のDIは25.0（前期50.0）と▲25.0ポイントで上昇が弱まり、仕入価格のDIについても▲50.0（前期▲50.0）と上昇傾向は変わらない状況。また、資金繰りのDIにおいては0.0（前期0.0）と窮屈感は無状態を維持している。借入れをした企業は12.5%（前期25.0%）、設備投資の実施をした企業は0.0%（前期25.0%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは25.0（前年同期14.3）とプラス10.7ポイントで好調さを強めたが、収益のDIにおいては▲12.5（前年同期14.3）と▲26.8ポイントで増加から減少に転じた。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、業況のDIは37.5（今期▲62.5）とプラス100.0ポイントで好調に転じる予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは62.5（今期▲37.5）でプラス100.0ポイントと増加に転じ、収益のDIにおいても62.5（今期▲50.0）とプラス112.5ポイントで増加に転じる予想となった。価格面をみると、販売価格のDIは25.0（今期25.0）と好感は変わらず。仕入価格のDIにおいては▲62.5（今期▲50.0）と上昇は更に強まる予想である。また、資金繰りのDIにおいては0.0（今期0.0）で変わらず安定推移の予想である。借入れを予定している企業は12.5%（今期実施12.5%）、設備投資の実施を予定している企業は14.3%（今期実施0.0%）となっている。

◆DI指数推移

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲28.6	▲28.6	▲37.5	▲25.0	▲62.5	37.5
売 上 額	▲71.4	0.0	0.0	50.0	▲37.5	62.5
収 益	▲57.1	▲28.6	0.0	37.5	▲50.0	62.5
販 売 価 格	28.6	57.1	62.5	50.0	25.0	25.0
仕 入 価 格	▲42.9	▲57.1	▲62.5	▲50.0	▲50.0	▲62.5
在 庫	0.0	0.0	▲12.5	▲12.5	▲12.5	▲12.5
資 金 繰 り	14.3	▲28.6	0.0	0.0	0.0	0.0

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	し た	28.6	28.6	25.0	25.0	12.5	12.5
	し ない	71.4	71.4	75.0	75.0	87.5	87.5
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	71.4	85.7	75.0	75.0	87.5	—
	難	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	—
	該 当 な し	28.6	14.3	12.5	12.5	12.5	—

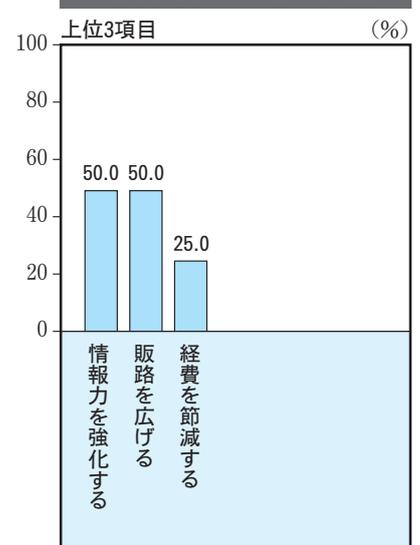
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	し た	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	14.3
	し ない	100.0	62.5	75.0	75.0	100.0	85.7
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	100.0	85.7	100.0	87.5	100.0	100.0
	不 足	0.0	14.3	0.0	12.5	0.0	0.0
DI	0.0	▲14.3	0.0	▲12.5	0.0	0.0	

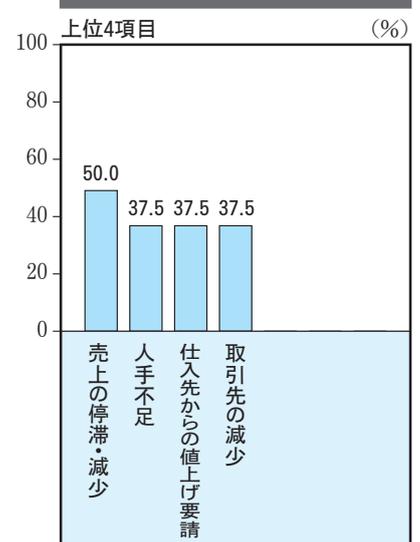
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	不 変	85.7	85.7	87.5	87.5	100.0	87.5
	減 少	14.3	14.3	12.5	0.0	0.0	0.0
人 手	過 剰	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	85.7	71.4	75.0	75.0	87.5	87.5
	不 足	0.0	14.3	25.0	25.0	12.5	12.5

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

小 売 業

(調査先企業35社 うち回答企業33社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**12.5%**（前期**15.2%**）、悪かったとする企業は**56.3%**（前期**54.5%**）、DIは**▲43.8**（前期**▲39.4**）と**▲4.4**ポイントで低調感は強まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲21.2**（前期**▲12.1**）と**▲9.1**ポイント、収益のDIも**▲33.3**（前期**▲21.2**）と**▲12.1**ポイントでいずれも減少幅が拡大している。価格面では、販売価格のDIは**39.4**（前期**48.5**）と**▲9.1**ポイントで上昇幅は縮小、仕入価格のDIにおいては**▲66.7**（前期**▲69.7**）とプラス**3.0**ポイントで仕入価格の上昇幅も縮小した。また、資金繰りのDIは**▲15.2**（前期**▲27.3**）とプラス**12.1**ポイントで窮屈感は弱まった。借入れをした企業は**15.2%**（前期**18.2%**）、設備投資の実施をした企業は**23.3%**（前期**20.0%**）となっている。

これを前年同期と比較すると、売上額のDIは**▲21.2**（前年同期**3.2**）と**▲24.4**ポイントで増加から減少に、また、収益のDIにおいても**▲48.5**（前年同期**▲9.7**）と**▲38.8**ポイントで減少を強めている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは**▲40.6**（今期**▲43.8**）とプラス**3.2**ポイントで厳しい中でもやや緩和される予想となった。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは**▲36.4**（今期**▲21.2**）と**▲15.2**ポイント、収益のDIにおいても**▲36.4**（今期**▲33.3**）で**▲3.1**ポイントといずれも減少を強める予想である。販売価格のDIは**39.4**（今期**39.4**）と高止まりにて安定予想、仕入価格のDIは**▲54.5**（今期**▲66.7**）とプラス**12.2**ポイントで上昇幅は縮小する予想である。また、資金繰りのDIにおいては**▲30.3**（今期**▲15.2**）と**▲15.1**ポイントで窮屈感は強まる予想となった。借入れを予定している企業は**12.5%**（今期実施**15.2%**）、設備投資の実施を予定している企業は**33.3%**（今期実施**23.3%**）となっている。

◆DI指数推移

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲12.9	▲25.8	▲41.9	▲39.4	▲43.8	▲40.6
売 上 額	3.2	▲22.6	▲6.5	▲12.1	▲21.2	▲36.4
収 益	▲12.9	▲35.5	▲12.9	▲21.2	▲33.3	▲36.4
販 売 価 格	45.2	51.6	38.7	48.5	39.4	39.4
仕 入 価 格	▲51.6	▲64.5	▲45.2	▲69.7	▲66.7	▲54.5
在 庫	6.5	9.7	6.5	18.2	▲3.0	▲6.1
資 金 繰 り	▲9.7	▲12.9	▲19.4	▲27.3	▲15.2	▲30.3

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	した	23.3	16.1	22.6	18.2	15.2	12.5
	しない	76.7	83.9	77.4	81.8	84.8	87.5
借 入 難 易 度	容 易	6.7	16.7	20.0	12.9	9.7	—
	不 変	63.3	66.7	60.0	64.5	67.7	—
	難	13.3	6.7	13.3	12.9	9.7	—
	該当なし	16.7	9.9	6.7	9.7	12.9	—

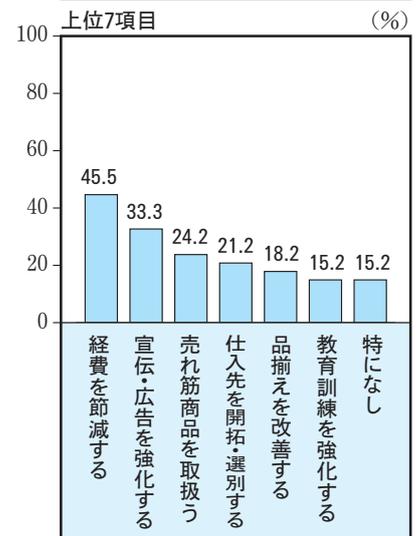
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	した	17.4	14.8	25.0	20.0	23.3	33.3
	しない	82.6	85.2	75.0	80.0	76.7	66.7
状 況	過 剰	9.7	3.2	3.2	3.0	6.1	9.1
	適 正	83.8	77.4	77.4	90.9	81.8	78.8
	不 足	6.5	19.4	19.4	6.1	12.1	12.1
DI	3.2	▲16.2	▲16.2	▲3.1	▲6.0	▲3.0	

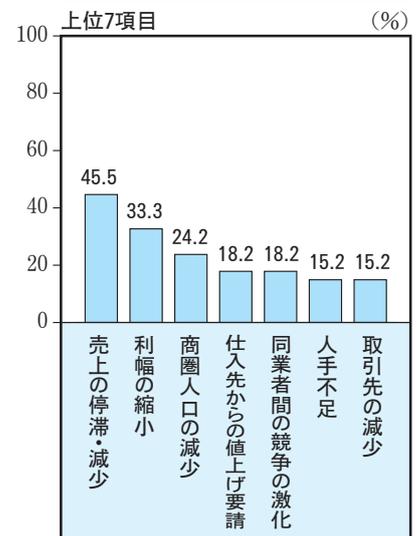
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	6.7	10.3	13.8	9.4	6.3	6.3
	不 変	83.3	86.3	72.4	78.1	78.1	74.9
	減 少	10.0	3.4	13.8	12.5	15.6	18.8
人 手	過 剰	6.7	0.0	10.0	6.3	3.1	3.1
	適 正	50.0	66.7	53.3	56.2	62.5	68.8
	不 足	43.3	33.3	36.7	37.5	34.4	28.1

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



サービス業

(調査先企業24社 うち回答企業23社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は4.3%（前期8.7%）、悪かったとする企業は69.6%（前期26.1%）、DIは▲65.2（前期▲17.4）と▲47.8ポイントで業況感が落ち込んでいる。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲39.1（前期▲26.1）と▲13.0ポイント、収益のDIにおいても▲65.2（前期▲30.4）と▲34.8ポイントでいずれも減少を強めている。料金価格のDIは26.1（前期4.3）とプラス21.8ポイントで上昇が強まり、仕入価格のDIでも▲87.0（前期▲60.9）と▲26.1ポイントで上昇が強まっている。また、資金繰りのDIでは▲26.1（前期▲21.7）と▲4.4ポイントで窮屈感も強まっている。借入れをした企業は13.0%（前期13.6%）、設備投資の実施をした企業は21.7%（前期38.5%）となっている。

前年同期との比較では、売上額のDIは▲13.0（前年同期4.3）と▲17.3ポイントで増加から減少に転じ、収益のDIでは▲39.1（前年同期▲13.0）と▲26.1ポイントで減少を強めている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは▲8.7（今期▲65.2）とプラス56.5ポイントで水面下ながら持ち直す予想となった。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは17.4（今期▲39.1）とプラス56.5ポイント、収益のDIにおいても13.0（今期▲65.2）とプラス78.2ポイントでいずれも増加に転じる見通しである。仕入価格のDIは▲82.6（今期▲87.0）とプラス4.4ポイントで価格上昇はやや弱まり、料金価格のDIは17.4（今期26.1）と▲8.7ポイントで価格上昇は弱まる見通しである。資金繰りのDIは▲26.1（今期▲26.1）と窮屈感は変わらない予想となった。借入れを予定している企業は13.6%（今期実施13.0%）、設備投資の実施を予定している企業は4.5%（今期実施21.7%）となっている。

◆DI指数推移

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲21.7	▲24.0	▲18.2	▲17.4	▲65.2	▲8.7
売 上 額	▲34.8	8.0	9.1	▲26.1	▲39.1	17.4
収 益	▲34.8	4.0	▲9.1	▲30.4	▲65.2	13.0
料 金 価 格	0.0	32.0	22.7	4.3	26.1	17.4
材 料 価 格	▲65.2	▲72.0	▲59.1	▲60.9	▲87.0	▲82.6
資 金 繰 り	▲21.7	▲20.0	▲18.2	▲21.7	▲26.1	▲26.1

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
借 入 実 施	し た	26.1	16.0	4.8	13.6	13.0
	し ない	73.9	84.0	95.2	86.4	87.0
借 入 難 易 度	容 易	8.7	13.0	9.1	17.4	4.3
	不 変	65.2	60.9	54.5	43.5	65.2
	難	13.0	17.4	13.6	13.0	8.7
	該 当 なし	13.1	8.7	22.8	26.1	21.8

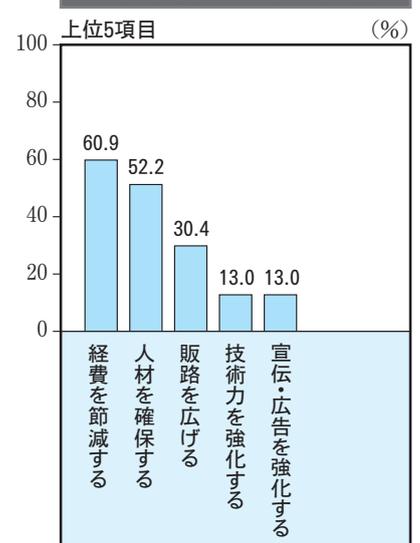
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
実 施	し た	26.9	30.8	36.0	38.5	21.7
	し ない	73.1	69.2	64.0	61.5	78.3
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	適 正	60.9	72.0	81.8	65.3	77.3
	不 足	39.1	28.0	18.2	30.4	22.7
DI	▲39.1	▲28.0	▲18.2	▲26.1	▲22.7	▲25.0

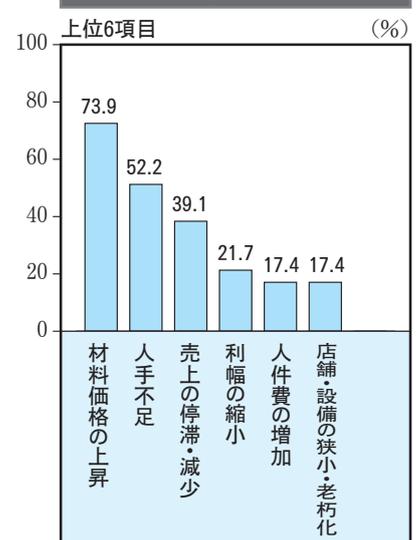
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
残 業 時 間	増 加	13.0	4.2	9.5	4.3	4.5
	不 変	74.0	91.6	85.7	78.3	86.4
	減 少	13.0	4.2	4.8	17.4	9.1
人 手	過 剰	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0
	適 正	52.2	44.0	63.6	52.2	47.9
	不 足	43.5	56.0	36.4	47.8	39.1

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



不動産業

(調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**16.7%**）、悪かったとする企業は**33.3%**（前期**0.0%**）で、DIは**▲33.3**（前期**16.7**）と**▲50.0**ポイントで悪化に転じた。

各指標別を前期比で見ると、**売上額**のDIは**33.3**（前期**▲33.3**）でプラス**66.6**ポイントと好転し、**収益**のDIについては**0.0**（前期**0.0**）と安定している。**価格面**においては、**販売価格**のDIは**0.0**（前期**0.0**）と上昇は落ち着きを見せたが、**仕入価格**のDIにおいては**▲33.3**（前期**▲16.7**）と上昇傾向は強まった。**資金繰り**のDIは、**0.0**（前期**0.0**）と窮屈感は無く安定している。**借入れ**をした企業は**66.7%**（前期**50.0%**）となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**のDIは**33.3**（前年同期**33.3**）で好調を維持、**収益**のDIにおいても**16.7**（前年同期**0.0**）とプラス**16.7**ポイントで好感が出てきた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、業況のDIは**▲33.3**（今期**▲33.3**）と低迷する予想である。

各指標別を今期と比べて見ると、**売上額**のDIは**▲16.7**（今期**33.3**）と**▲50.0**ポイントで増加から減少に転じる予想、**収益**のDIにおいても**▲16.7**（今期**0.0**）で減少に傾く予想である。**販売価格**のDIは**0.0**（今期**0.0**）と変化ない見込であるが、**仕入価格**のDIにおいては**▲16.7**（今期**▲33.3**）とプラス**16.6**ポイントで上昇傾向は弱まる見通しである。また、**資金繰り**のDIについては**0.0**（今期**0.0**）で変わらず安定推移の予想である。**借入れ**を予定している企業は**50.0%**（今期実施**66.7%**）となっている。

◆DI指数推移

(%)

	2024年				2025年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	33.3	25.0	33.3	16.7	▲33.3	▲33.3
売 上 額	33.3	▲20.0	0.0	▲33.3	33.3	▲16.7
収 益	16.7	▲20.0	0.0	0.0	0.0	▲16.7
販 売 価 格	33.3	20.0	33.3	0.0	0.0	0.0
仕 入 価 格	▲50.0	▲40.0	▲16.7	▲16.7	▲33.3	▲16.7
在 庫	▲50.0	▲40.0	▲33.3	▲33.3	▲50.0	▲50.0
資 金 繰 り	0.0	▲20.0	▲16.7	0.0	0.0	0.0

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

(%)

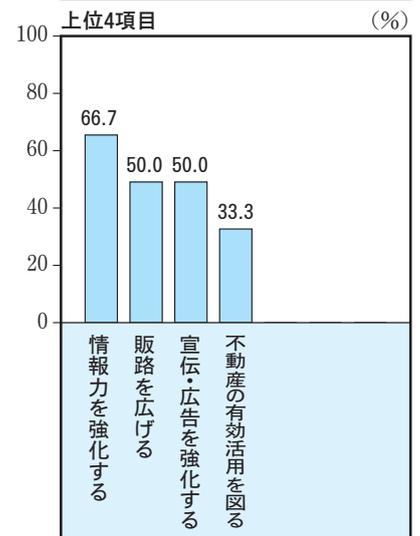
	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	し た	50.0	60.0	66.7	50.0	66.7	50.0
	し ない	50.0	40.0	33.3	50.0	33.3	50.0
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	100.0	100.0	83.3	83.3	83.3	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該 当 な し	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	—

◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

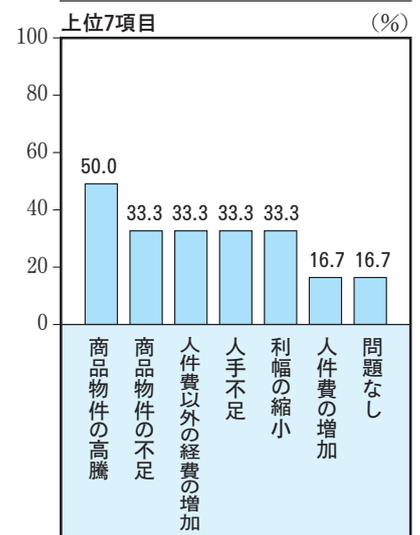
(%)

	2024年				2025年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	16.7	20.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	不 変	83.3	80.0	66.6	66.6	83.3	100.0
	減 少	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	83.3	80.0	66.7	83.3	83.3	66.7
	不 足	16.7	20.0	33.3	16.7	16.7	33.3

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



特別調査 外国人・海外情勢と中小企業

問 1 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。また、外国人とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。

『外国人との接触機会』を総合的にみると「わからない」が48.6%で最も多い解答であったが、次に多かったのは「コロナ前とほぼ同水準」で36.6%と全体の3分の1を超える企業が回答、続いて「コロナ前を上回っている」が9.7%と1割近い企業が回答、「コロナ前を下回っている」が5.1%という結果であった。業種的にみると、外国人との接触機会が「コロナ前とほぼ同水準」と回答した業種は多い順に、不動産業が66.7%、卸売業が44.4%、製造業が40.0%、小売業が33.3%、サービス業が31.8%、建設業が30.0%という結果となった。

『ビジネスチャンスを増やす意向』の有無について総合的にみると、「わからない」29.1%の回答以外では、多い順に「どちらかというとなし」が23.3%、続いて「まったくない」が20.3%、「どちらかというところ」が19.8%、「大いにある」7.6%と回答にはバラつきがみられた。(%)

	総 合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
外国人との 接触機会	1. コロナ前を上回っている	9.7	15.4	0.0	0.0	9.1	18.2
	2. コロナ前とほぼ同水準	36.6	40.0	30.0	44.4	33.3	66.7
	3. コロナ前を下回っている	5.1	4.6	0.0	11.1	9.1	0.0
	4. わからない	48.6	40.0	70.0	44.4	48.5	33.3
ビジネスチャン スを増やす意 向	5. 大いにある	7.6	15.4	0.0	12.5	3.1	4.3
	6. どちらかというところ	19.8	21.5	13.2	0.0	18.8	30.4
	7. どちらかというとなし	23.3	15.4	34.2	12.5	31.3	17.4
	8. まったくない	20.3	18.5	15.8	25.0	25.0	26.1
	9. わからない	29.1	29.2	36.8	50.0	21.9	21.7

問 2 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由をお答えください。

『外国人労働者を雇用している』と回答した企業を総合的にみると企業の全体の23.3%、このうち最も多かった雇用割合は「10%未満」で『外国人労働者を雇用している』と回答した企業の60%、次に「10%～20%」が22.5%、「20%～30%」が12.5%の順であった。業種別にみると、サービス業での回答企業はすべて「50%以上」、卸売業と不動産業では『外国人労働者を雇用している』と回答した企業は無かった。

『外国人労働者を雇用していない』と回答した企業を総合的にみると企業の全体の76.7%、このうち最も多かった理由は「人手が充足しており必要ない」で『外国人労働者を雇用していない』と回答した企業の52.3%、続いて「コミュニケーションなどで心配がある」が22.7%、「受入負担（就労環境整備、育成コスト等）が重い」が20.5%、「雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い」が4.5%となった。どの業種においても「人手が充足しており必要ない」が最も多い回答となった。(%)

	総 合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
外国人労働者を 雇用している	1. 50%以上	2.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	2. 40%～50%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3. 30%～40%	2.5	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	4. 20%～30%	12.5	13.8	14.3	0.0	0.0	0.0
	5. 10%～20%	22.5	27.6	0.0	0.0	33.3	0.0
	6. 10%未満	60.0	58.6	85.7	0.0	33.3	0.0
外国人労働者を 雇用していない	7. 人手が充足しており必要ない	52.3	47.2	40.6	50.0	67.9	83.3
	8. 受入負担（就労環境整備、育成コスト等）が重い	20.5	25.0	25.0	12.5	10.7	22.7
	9. 雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い	4.5	8.3	9.4	0.0	0.0	0.0
	10. コミュニケーションなどで心配がある	22.7	19.4	25.0	37.5	21.4	27.3

問 3 貴社では、売上全体に占める外国人（旅行客を含む）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む）はどれくらいですか。

総合的にみると、「外国向けの売上はない」が最も多く全体の74.6%、外国向けの売上の割合では「10%未満」が全体の18.5%、「10%～20%」が2.3%、「20%～30%」と「50%以上」が1.7%、「30%～40%」と「40%～50%」が0.6%であった。業種別にみても、すべての業種で「外国向けの売上はない」が最も多い回答であったが、建設業と卸売業ではすべての企業で「外国向けの売上はない」との回答であった。また、外国向けの売上が「50%以上」の企業がある業種はサービス業と製造業で、それぞれ4.3%、3.1%であった。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業	
外国向けの売上がある	1. 50%以上	1.7	3.1	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	2. 40%～50%	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3. 30%～40%	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4. 20%～30%	1.7	3.1	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	5. 10%～20%	2.3	4.6	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	6. 10%未満	18.5	23.1	0.0	0.0	21.9	34.8	33.3
	7. 外国向けの売上はない	74.6	63.1	100.0	100.0	78.1	52.2	66.7

問4

貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は特に行っている取組みを、行っていない企業は行っていない理由についてお答えください。

総合的にみると、『外国向けの取組を行っている』と回答した企業は全体の11.3%、これらの企業のうち特に行っている取組で最も多い回答は「営業力の強化」で52.6%、次に「製品・商品・サービス面の開発強化」と「海外拠点の設置・強化」が15.8%、「ネットや広告による情報発信」が10.5%の順であった。業種別にみると、建設業と卸売業では『外国向けの取組を行っている』と回答した企業は無かった。

『外国向けの取組を行っていない』と回答した企業は全体の88.7%、これらの企業のうち行っていない理由で多かったのは、「国内だけで十分な売上がある」が最も多く52.3%、「何をすればいいのかわからない」が21.5%、人材が不足している」が8.7%、「資金面で余裕がない」が7.4%の順であった。また、どの業種をみても「国内だけで十分な売上がある」の回答が最も多かった。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
を外国向けの取組を行っている	1. 製品・商品・サービス面の開発強化	15.8	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. 営業力の強化	52.6	57.1	0.0	0.0	100.0	50.0
	3. ネットや広告による情報発信	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	4. 海外拠点の設置・強化	15.8	14.3	0.0	0.0	0.0	50.0
	5. その他	5.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
を外国向けの取組を行っていない	6. 国内だけで十分な売上がある	52.3	40.8	64.1	57.1	53.3	50.0
	7. 何をすればいいのかわからない	21.5	28.6	12.8	28.6	26.7	15.0
	8. 人材が不足している	8.7	14.3	10.3	0.0	3.3	5.0
	9. 資金面で余裕がない	7.4	8.2	5.1	0.0	6.7	15.0
	10. その他	10.1	8.2	7.7	14.3	10.0	15.0

問5

貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について、また、引上げない場合は引上げなかった理由についてお答えください。

総合的に見ると、『引上げを実施(実施予定を含む)』と回答した企業は全体の57.4%、その賃金引上げ率は「2%以上4%未満」が最も多く引上げを実施した企業の45.4%、続いて「0%以上2%未満」が36.1%、「4%以上6%未満」が13.4%、「6%以上」が5.2%であった。製造業では「2%以上4%未満」、不動産業では「6%以上」、それ以外の業種では「0%以上2%未満」が多い回答となった。

『引上げない』と回答した企業は全体の42.6%、その理由で最も多かったのは「自社に従業員はいない(家族経営など)」で26.4%、続いて「今後の業績見通しが不透明」が22.2%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」が19.4%、「これまでに賃金を引上げ済み」が16.7%、「売上の低迷や伸び悩み」が9.7%、「同業や同地域内の他社が上げていない」が5.6%の順であった。

『引上げを実施(実施予定を含む)』と回答した企業が多かった業種は製造業で73.8%、『引上げない』と回答した企業が多かった業種は小売業で64.5%であった。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
【特別設問】 引上げ	1. 0%以上2%未満	36.1	18.8	61.9	50.0	54.5	40.0
	2. 2%以上4%未満	45.4	58.3	28.6	25.0	45.5	40.0
	3. 4%以上6%未満	13.4	20.8	9.5	25.0	0.0	0.0
	4. 6%以上	5.2	2.1	0.0	0.0	0.0	20.0
引上げない	5. 賃上げに見合う価格転嫁ができてない	19.4	35.3	5.9	0.0	20.0	27.3
	6. 同業や同地域内の他社が上げていない	5.6	0.0	11.8	0.0	0.0	9.1
	7. 今後の業績見通しが不透明	22.2	23.5	23.5	50.0	10.0	27.3
	8. 売上の低迷や伸び悩み	9.7	23.5	11.8	0.0	0.0	9.1
	9. これまでに賃金を引上げ済み	16.7	11.8	23.5	50.0	20.0	0.0
	10. 自社に従業員はいない(家族経営など)	26.4	5.9	23.5	0.0	50.0	27.3